

# 性 ～アジアに開かれた鹿児島～

## Q なぜ県職員などの派遣研修を行うのですか？

**A** 職員の資質向上を図る観点から、従来から、国内外を問わずさまざまな地域に職員を派遣することは、重要であると考えています。

今回、成長著しい上海の産業、都市基盤、教育などの状況を直接体験することにより、時代の変化に柔軟に対応し、国際感覚や幅広い視野を持った職員の育成を図ることとしており、その結果として、本県と環黄海地域の主要都市である上海を直接結ぶ極めて重要な国際定期路線である鹿児島ー上海線の搭乗率を向上させることとなります。

今回の事業は、県職員の研修のみならず、約100人の県民の方々にも上海を訪問していただくこととなっております。



いしがい  
依思凱農業科技  
奉賢区の60,000㎡の土地にガラスハウスなどで無農薬栽培の野菜を栽培、取引先の料理店は130店を超える野菜農場です。



こうしゅうわん  
杭州湾海上大橋  
2008年5月1日に開通した、全長35,673m、6車線の高速道路で、杭州湾を南北に縦断する海上橋です。

## Q 一般県民は参加できないのですか？

**A** 一般県民の方々については、8月下旬から9月下旬にかけて100人程度派遣することとしています。

派遣コースとしては、教育交流コース(20人程度)、農業交流コース(20人程度)、経済交流コース(60人程度)を予定しています。

派遣対象者の選定については、関係団体からの推薦を基本としていますが、経済交流コースのうち20人程度は公募を行なっています(募集期間 8月23日(金)まで)。

なお、若い世代の方々に上海等の現状を視察する機会をどう提供するかは、今後の課題です。

応募方法については、県のホームページをご覧ください。  
ホーム > 社会基盤 > 道路・交通 > 国際線利用促進  
> 上海線利用促進特別対策事業参加者募集

## Q 上海線を維持するためにどのような取り組みをしてきたのですか？

**A** 上海線の利用促進については、昨年1月の県観光連盟新年互礼会をはじめ、さまざまな機会をとらえて、同路線の利用状況が低調であることを踏まえ、民間企業の方々に積極的な利用を要請してきました。

また、上海線の利用を促進するため、上海では旅行情報誌などへの観光情報の掲載や海外誘致セールスなど、県内では旅行会社に対する広告支援や団体旅行・ビジネス出張に対する助成など幅広く取り組んできました。

なお、団体旅行については研修・視察や国際交流のため海外渡航する6人以上の団体・グループを対象に、ビジネス客については新たな海外ビジネス展開を目的に展示会や商談会などに参加する方を対象に渡航費用の一部を助成していますが、上海線を利用する場合には、いずれの場合も6月1日渡航分から、その助成額を2倍にしたところです。

## Q 研修事業を実施すると路線は維持されるのですか？一過性の対応策ではないのですか？

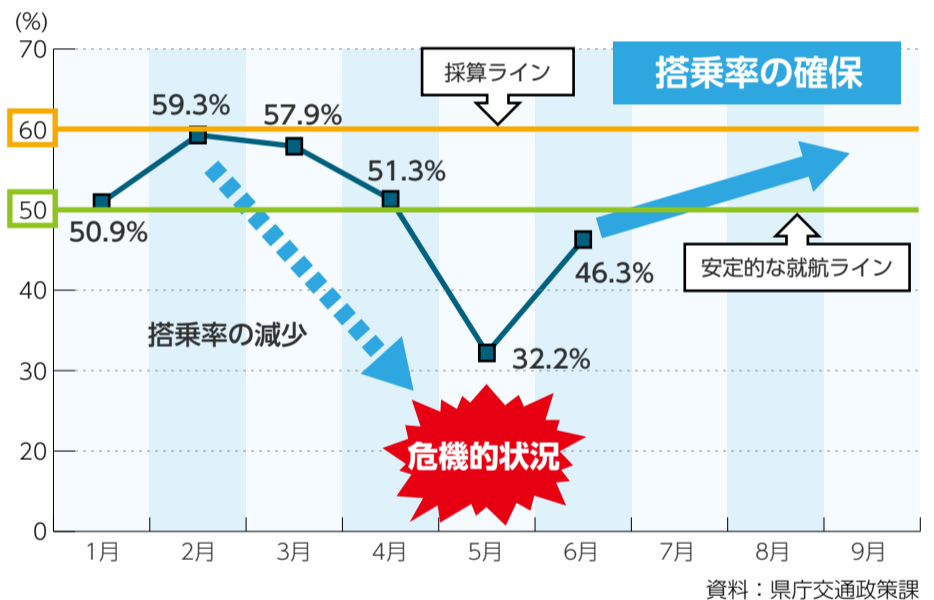
**A** 今回の研修事業は、5月の搭乗率が32.2%となるなど上海線が極めて危機的状況であることを踏まえ、緊急的な対応策として実施するものであり、7月から9月までに300人を派遣することとしています。

また、経済5団体による利用目標1,000人や県観光誘致促進協議会の利用目標500人などの民間における取り組みが具体化しつつあり、これに団体旅行・ビジネス出張に対する助成拡充などの効果も加わると、一般的に採算ラインといわれる搭乗率60%に近づくと考えています。



同路線は平成14年の就航以来、安定的な就航の目安である搭乗率50%をおおむね維持していることから、研修事業により一定の利用者数を増やすことで危機的状況を脱することができれば、今後は安定的な運航に必要な利用者確保できると見込んでいます。

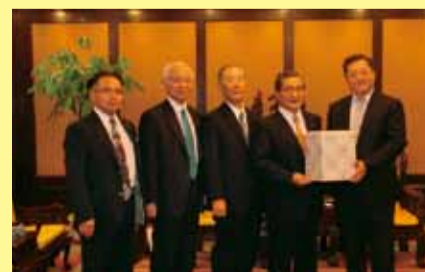
## 鹿児島ー上海線の搭乗率の推移 (平成25年1月以降)



## 鹿児島ー上海線の路線維持および鹿児島ーソウル線の増便を要請しました

知事や県議会、経済界のトップなどによる訪問団が中国東方航空(上海)と大韓航空(ソウル)を訪問し、鹿児島ー上海線の路線の維持、鹿児島ーソウル線の増便の要請を行いました。

中国東方航空からは、本県の路線維持の取り組みに対する感謝の意が述べられるとともに、路線の維持や発展に向けた取り組みを推進していきたい旨の表明がありました。また、利用促進に当たっては、鳥インフルエンザによる市民生活への影響は軽微であることをPRいただきたいとの要請がありました。



中国東方航空(上海)  
平成25年7月10日



大韓航空(ソウル)  
平成25年7月12日